

平成2年8月

## 第18号

札幌東高等学校同窓会

ごあいさつ

北海道札幌東高等学校同窓会会长

吉中新太郎



同窓会の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

松尾前会長の後をお受けしてより三年が経過し、今年は役員改選の年であります。この間、創立八十周年行事、

同窓会名簿の発刊など色々の事業のいすれも、皆様の暖かく且つ強力なご支援により大過なく終えることができ、厚く御礼申し上げます。

母校では昨今の生徒急増により、一年学年十二学級と全道一の大型校となり、昨年秋には四つの教室と第二体育館が新築されました。特に第二体育館は永年の念願であり、從来より一回り大きな立派なもので、この落成に際しては、八十周年行事に係った諸団体とご相談して、予め同窓会がお預かりして、いた記念行事費の残余金を以て、新体育館に舞台幕・暗幕一式をご寄贈いたしました。

また、三月には、鍵谷前校長先生がご退任され、留学生事前教育のお仕事でマレーシア・クアランブルへご転勤されましたが、その情熱と意欲に敬意を表するものであります。新学期から大沢校長先生がご着任になり、同時に教頭先生・事務長も交替されて、母校は新体制のもと、大学合格における近年の大躍進という学力面ばかりではなく、新体育館落成時の観世流能の鑑賞・講話、今年六月には元NHK鈴木健二氏の講演など文化的行事においても目覚ましいものがあり、母校の益々円熟した発展に期待の持てるところであります。

同窓会では、母校の大型化に伴ない、今後急速な会員増加が続いて間もなく三万名に達する状況です。また総会においても、近年は六百名前後の多数の方が出席されるなど、より大きな組織となっておりますところより、同窓会の皆様には今迄に勝るご理解とご支援をお願い致します。



# 同窓会のご支援に感謝して

札幌東高等学校長 大澤 昭夫



始めに自己紹介させていただきます。

この四月一日付をもって、本校第二十三代校長に発令され着任いたしました。

出身は信州川中島（長野市）で、昭和二十九年来道以来、学校現場と教育行政をそれぞれ経験しまして、校長としては、津別、釧路東、函館中部そして本校と四校目になります。この間三十年は国立学校の事務官もいたしました。本年五十九歳、何とぞよろしくお願いいたします。

これまで、本校とは直接かかわりのあることはほとんどありませんが、それでも懐しい想い出があります。新任教師として札幌西高に赴任するため始めて津軽の海を渡ったとき、東京から車中二泊の準急の向いの席に座つておられたご婦人と娘さんが、三月の寒い朝の六時に札幌駅に下りることに同情

してくださり、私の家が苗穂駅前ですからと親切に案内され暫し暖をとらせくださいました。その娘さんはその月東高を卒業し、日舞の先生の内弟子となるため挨拶に上京した帰りだとのことでした。同窓の方と知り合った最初の方ですが、その後どうなされておられるのでしょうか。それから、昭和三十九年の春の人事異動で札幌西高から本校へ移る話が校長間で決まっていたのですが、この話はどういうわけか直前になつて突然立ち消えになつてしましました。私事で恐縮でしたが、そういう因縁だけございました。

さて、遅くなりましたが同窓会の皆さんには、本校発展のため日ごろから物心両面にわたり多大のご支援を賜っておりますことを、衷心より御礼申しあげます。特に、昨年度は第二体育館竣工に当たり多大のご支援を賜つておりました。それを本校では、出張外勤、病欠等の時は止むなく穴があき易いものです。それを本校では、一時間の自習もまづないくらい徹底して振替えを行なつております。出張等でもその間の授業をその前後に振替えてなり研究会出席などの場合はその準備もあつて大変なわけであります。

それ以上に感服するのは、授業以外の講習で、これは他校も行なつていい

結束の強さや活動の活発さが伺われて誠に頼もしく存じ深く敬意を表する次第であります。

お陰様で、本校はいま、いうなれば高度成長継続期にあります。かつての市立高女時代、戦後の小学区制時代、それに続く現在と、創立八十余年の長い校史の中で繁栄を続けてまいつたところであります。ここ数年は特に、

してくださり、私の家が苗穂駅前ですからと親切に案内され暫し暖をとらせくださいました。その娘さんはその月

東高を卒業し、日舞の先生の内弟子となるため挨拶に上京した帰りだとのことでした。同窓の方と知り合つた最初の方ですが、その後どうなされておら

れるのでしょうか。それから、昭和三十九年の春の人事異動で札幌西高から

本校へ移る話が校長間で決まつていたのですが、この話はどういうわけか直前になつて突然立ち消えになつてしまつました。私事で恐縮でしたが、そういう因縁だけございました。

さて、遅くなりましたが同窓会の皆さんには、本校発展のため日ごろから物心両面にわたり多大のご支援を賜つておりますことを、衷心より御礼申しあげます。特に、昨年度は第二体育館竣工に当たり多大のご支援を賜つておりました。それを本校では、出張外勤、病欠等の時は止むなく穴があき易いものです。それを本校では、一時間の自習もまづないくらい徹底して振替えを行なつております。出張等でもその間の授業をその前後に振替えてなり研究会出席などの場合はその準備もあつて大変なわけであります。

それ以上に感服るのは、授業以外の講習で、これは他校も行なつていい

放課後や休業期間中は勿論のこと、朝講、昼講までやるという徹底ぶりであります。生徒も頑張つております。早朝七時半からの課外講習では、廊下にはみ出すこともあります。

現在校生は、先輩諸兄姉が築かれた克己自強に基づく良い伝統を守り、更には新しい若い力をもつて創造に励んでいる昨今であります。

私のみますところ、恐らく本校はいま、学習への取組み、生活行動の両面とも全道一、二であります。これに、部活動での一層の活躍が実績につながれば言うことなしであります。

いま本校が当面する重大な問題として、学校規模の過大化がありますが、これについては一年でも早く適正規模になるよう望んでいますところであります。

いづれにいたしましても、同窓会を始めとする東高関係者のご期待に沿うべく努力してまいる所存でございます。

同窓会並びに会員各位の益々のご盛昌を祈念し、ごあいさつといたします。



## 『同窓会幹事を終えて』



実行副委員長 白鳥 英一

同窓会? 右も左も分からず6期の先輩のお力を借りし、無我夢中とはこのことをいうのでしょうか。

本当に一つのイベントを行うということは大変であるとつくづく思い知らされたのであります。

“同窓会”我々東高校卒業20期生としては、ピンと来ない響きをもつています。何せ「団塊」の時代という世代に育つたせいか、集団を少々嫌う感があるのです。勿論、卒業後同期会なるもの一度たりとも、会していないのでありました。

ところが、東高を卒業して20年後の春、今年は同窓会の当番幹事という連絡が同窓会事務局より入り、役員を選び同窓会を催してほしいとのことで、突然の話で、何が何やら（焦り、途惑い、困惑、etc;...）

とにかく同期生を集めねばと、早速3月の始め電話作戦、わずか3週間後の同期会に集まつた人数74名（卒業生、480余名）20名ほど役員を選び、慌ただしくとりくんだ同窓会は、わずか4ヶ月後のことになりました。

## 美術室に思うこと

八期 阿部 典英

昭和三十三年三月卒業であるから、もうその時の年度数と同数の時間が過ぎている。当時の美術部には友人に誘われて入学してからすぐ入部したと記憶している。油絵具、溶油のニオイなど、まったく嗅いだことがなかつた美術室独特の雰囲気に圧倒された。今は亡き伊藤正先生の几帳面な性格も反映されて、部員は皆、眞面目に作品制作に励んでいた。水彩絵具しか持ち合せていなかつた私に「これで描いてごらん」と油絵具セットを貸してくれたのも先生であつた。うれしくて、うれしくて家に飛んで帰り無我夢中で描いたのが「スルメ」であつた。今も、この絵は手元にあるが見るたびにその時の事を思い出す。たぶんこのことがなかつたら今も続いている創造する生活は無かつたのではないかと思う。

当時、美術室の壁には沢山の木炭デッサンが貼られていた。その中で一際目立つ正面に、「板津邦夫（一期、現教育大学旭川分校教授）」のデッサンがあつた。当時は面識はなかつたが、昭和六十一年北海道近代美術館で「木の人展」でグループ展を開催出来たのも東高の縁かもしれない。札幌芸術の森に光つた作品がある。「水島健（四期）」は面識はないが東京で個展を中心に活躍していることを耳にする。特筆されるのは各国バラバラなキャンバスサイズを全世界統一サイズにすることを発

案し採用されたことである。私のすぐ上に「豊島輝彦（七期 現札幌大谷短大美術科教授）」がいる。道展の事務局長として会務にそして制作に活躍している。高校二年の時に道展入選という我々にとつてはびっくりする出来事があつた事を覚えている。すぐ下に「堀内掬夫（九期 現静修短期大学教授）」がいる。小柄で落着いた雰囲気は今も変わらないが、豊島同様、道展の会務と抽象画の重鎮として活躍している。「岡部昌生（十一期 現札幌大谷短期大学教授）」は、フロッタージュ（こすり出技法）で全国をかけ回つて制作に発表にと活躍している。私も幾度も発表をいつしょに行つて同窓である「花田和治（十四期 現北海道造形美術学院主任講師）」も、グループ展、個展を中心へ活躍している。さらに「宮前辰雄（十六期 現東京都立松ヶ谷高校美術教諭）」もユニークな作品制作で活躍している。私自身の交遊関係の狭さからまだまだ多くの同窓の方々が北海道、日本、そして世界と活躍しているはずである。故伊藤正先生も早くに世界に目を向けた先人であつたと思う。したがつてここに挙げた方々のほかに、多くの創造する人＝東高人（美術室、部に囚られない）は、枚挙に暇がないだろう。その様な方々に支えられ、育てられていると何時も思う。

（北海道女子短期大学工芸美術科 教授 阿部 典英）

## 同期会に臨んで



高女二十二期生が同期会を行うようになりまして一年おきですから十二年目になりました。

過去六回の同期会は、定山渓一泊をしたり各組が巡り幹事を引き受け、八八年には、先生三人を含め八十八人の参加者でしたので、九十年は九十人以上を目標に各組のご協力をいただき九十三名でした。

今年は始めていらした、中村四郎先生、当時の国文の先生で現在八十五才、

野佛を訪ね歩いておられます。鈴木先生は敵国語と云われていた当時の英語の先生、若い時のモダンな面影をのこされ七十三才とのこと、欠席の工藤先生（国文）は美しい字ですばらしい内容の御返事をください各組にコピーしてお渡しました。

会場は新しいホテルの大通りに面した後楽園を一年前に予約しましたのでゆつたり会をもつことができましたし、年代にあつた会席風のお料理にはじまり満足なさったと思います。

今年は道内各地からもとより、東京からも遠くハワイからも来られました。ハワイのスザン・サーモン（田中澄子さん）はハワイに来られたら必ず電話欲しいとPRなさつていらました。

旧姓の名前を書いたリボンを各組色わけしてつけましたので、お互い名前を確かめてから見上げると昔の顔がかさなり、手をとりあって感激している人たちがあちこちで見受けられました。還暦を過ぎた仲間が旧交を暖め頬を紅潮させながら散会し五組にバトンタツチいたしました。

旧四年六組

浜 久子

## 「東豚会」

16期卒業 越前谷勝人

いまから5、6年前、われわれ東高16期（昭和41年卒業）が同窓会の幹事にあたり、その第一回準備会のために大通り公園で有志が集まつたのが同期会の始まりでした。

われわれ16期といえば最近またみににかと脚光を浴びる団塊の世代。ベビーブーマーとして圧倒的に数が多いのが特徴で各クラスとも60人弱の編成で10クラス。ものごとにこだわったり、群れをつくるのが意外に好きな世代であります。

こんな習性をみごとに發揮、約70名の参加で第一回同期会開催。ひとたび集まつてしまえば「やはり同期会は2、3年に一回ぐらいがいいんだよな」なんていう当初の話はいつのまにか立ち消え、この時いらい毎年同期会が開催されました。あれらの性格はちつとも変わつていなかつたというわけです。

「東豚会」と書いてトントン会と呼称していますが、この名前の意味するところを御理解していただけるのは、われわれの前後、何期ぐらいまででしょう。さだかではありませんがグランドの横から国道にかけて、あのころは豚小屋があつたのです。夏になるとえも言われぬ匂いが校舎まで漂つてきます。その匂いがわれわれ東高16期の青春の匂いなのです。「わかつてくれるかな」と提案したこの名称が同期会席上、満場一致の採択となつたわけで、時代と場所を共通体験していく同期会ならではとあらためて感激した次第です。



「東豚会」と書いてトントン会と呼称していますが、この名前の意味するところを御理解していただけるのは、われわれの前後、何期ぐらいまででしょう。さだかではありませんがグラン

## 東京支部だより

地価高騰は比較的落ち着いたとはい  
え、サラリーマンにはウサギ小屋すら  
高嶺の花となってしまい、新幹線通勤  
を認める会社が増えはじめたこのごろ  
の東京です。

第12回東京支部同窓会が、昨年11月  
12日（日）に皇居に近いグリル・トーヨー  
ギョーで開かれました。毎年更新され  
続けている出席者数は大幅に増え百七十  
余名を数えました。高女5期（S2  
卒）を頭に卒業後10年前後の若い世代  
支部総会は、半田満当番幹事代表（東

16期）によって始められ、固い雰囲気  
をほぐす様な工藤恒美支部長（東2期）  
の軽妙なタッチの挨拶のあと、支部役  
員の改選が無かつた事もあり会務・会  
計報告をスピーディーに承認頂き早速  
懇親会に移りました。

懇親会は、鈴木一成幹事長（東4期）  
の音頭による乾杯に続き、毎年駆けつ  
けて頂いている吉中新太郎同窓会本部  
会長（東1期）には祝辞と本部の近況  
をお話し願い和やかな雰囲気でスター  
トしました。

恒例となっている札幌からお招きし  
た恩師は、北條忠（地理S29・4～40  
・4）・納谷浩一（社会S34・4～42・  
4）の両先生で、当時の授業を彷彿と  
させる話しぶりに過ぎた年月を忘れ感  
じました。

本州各地に広く会員を抱える東京支  
部の大きな悩みは会員の把握の難しさ  
にあります。これまで苦労して自前で  
管理して来たところS63年秋本部より  
発刊された同窓会名簿が強力な味方と  
なりました。本部の岩城幹事長にご支  
援頂き名簿データの提供を受け、今迄  
の倍近い三千名の会員に通知するこ  
とができた結果、出席者増と卒業期巾の  
拡大が実現されました。ここに紙面を  
借りて厚くお礼申し上げます。

本年度の第13回支部総会は、11月11  
日（日）です。益々盛会になるよう当  
番幹事が準備を進めておりますので、  
是非ご出席下さい。

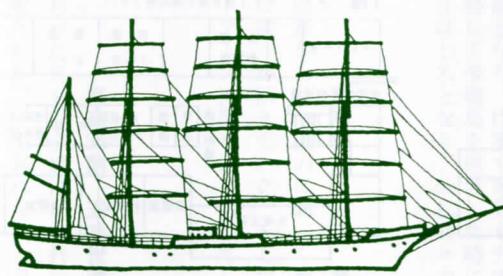
日 時 11月11日(日)午後1時～4時

激を新たにしました。また、新しい先  
生ばかりでは……との先輩のアドバイ  
スもあり、近在の恩師の発掘（失礼）  
S15・3～16・3）をはじめ多くのご  
来席を頂き、いくつもの語らいの輪が  
できました。

宴も進み、校歌斉唱の後、山本益博  
次期当番幹事代表（東17期）の挨拶と  
続き、最後に佐川清治副支部長（東3  
期）が卒業後10年前後の若い世代を壇  
上に招き、これらの人々が続く限り支  
部の未来は明るいと、高らかに乾杯し閉  
会となりました。

場 所	テピアホール 4階
当番期	高女19期・東校17期
連絡先	山本 益博

〒107 東京都港区北青山2-8-44  
TEL 03-5474-6111  
TEL 03-587-1976



# 第四十一回 東高祭

## THE SCHOOL FESTIVAL OUR NEWBORN TRADITION

テーマ 時機は来た!

去る七月十八日（水）より二十二日（日）の五日間母校の学校祭が開催されました。

恒例の在校生へのドリンクサービスが本校三階同窓会室で行われ、本期新入会員の第四十期生のお手伝いを戴き無事終了する事が出来ました。

二十一日（土）の入場者五二六名、二十二日（日）入場者六六五名、合計一百一十九名の入場者があり同窓会室で、古いアルバムや、新しいアルバムを楽しんで見て、時々大きな声が上つております。

アルバムも資料室担当の忠津先生の尽力により年度別に整理され見易く搜しやすくなりました。

又翌二十三日の北海道新聞朝刊二十面バック九〇の欄に学校祭の記事が



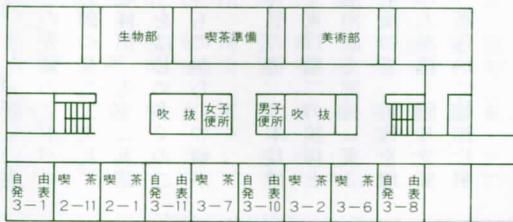
掲載されており、環境問題に取り組んだ二つの展示発表であり、一つは家庭クラブの展示「生活を見直して」では清涼飲料水の糖度検査や乳酸飲料のタンパク質の検査等、もう一つは保健委員会の「今なぜゴミなのか」をテーマに空き缶や空き瓶の捨てかたの紹介、ゴミの再利用して資源を守ろうと訴えているとの記事がありました。

来年から一人でも多くの同窓生が学校祭を見に行くことを切望致します。最後に土、日曜日の二日間お手伝い戴いた第一高等学校二期卒古賀恭子さん有り難うございました。

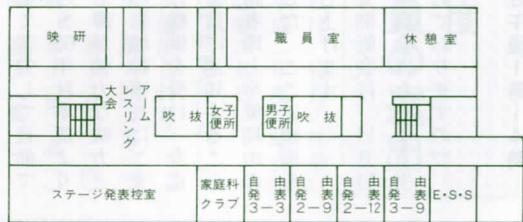
札幌東高同窓会母校担当  
副会長 秦 泰子  
副幹事長 陣内 幸則

### 会場案内図

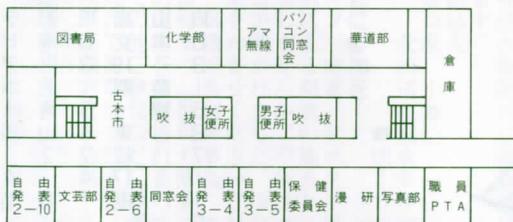
4階



2階



3階



1階 ※スリッパ・上履き等を御用意下さい。



## 同窓会ゴルフ大会

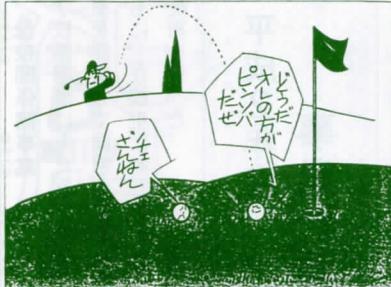
ゴルフ会会长 氏家 保嗣



札幌東校同窓会恒例のゴルフ会は、今年も7月19日（木）滝野ゴルフコートで、約70名の参加を得て、天候にも恵まれて開催致しました。成績は六期秋田谷順介氏が、グロス九〇ネット六九で優勝し同窓会長賞を取得し、団体戦では六期が、優勝致しました。私はゴルフ歴20年になりますが、此のスポーツの様に、老若男女を問わず楽しめ、ヘルシーでコミュニケーションをはかれるスポーツは少いと思います。

高女の先輩から若い後輩の沢山の東高同窓会員の間に爽やかで、健康的な

汗を流せるゴルフ同好会の輪が広がることを願っております。来年も7月の第3木曜日を予定して居ります。御参加希望の方は、各期の常任幹事又は幹事の方に申し込まれる事を御願いします。来年も盛大に催される事を祈つております。



## 東高同窓会担当の先生紹介

同窓会事務局長 藤原 英彦

11期卒業で本校勤務8年目になります。私は東校生徒、教職員と先輩諸氏とのスマーズな連携・総会・同窓会入会、卒業生からの諸連絡・問い合わせへの対応等色々あります。が、今年は総会の為大変苦労される当番幹事の名簿をまとめていたり思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

東高は現在35学級の全道一のマンモス校で道内有数の名門校です。益々の発展の為、事務局は努力致しておりますので同窓生の皆様、母校の御支援をお願い致します。

東高同窓会事務局を担当して初めて自分の卒業期を知つたという不心得な私でしたが、もう八年になります。年令は下から二番目という若輩が、最古参になってしましました。

この八年の間に結婚をし母となり、仕事も家庭も充実しております。私が母校に勤務して事務局を担当した時には二名だった東高卒業生が現在は7名となり、公私共々力強い仲間となっています。

東高16期 古江 憲次

中庭が無くなつた母校。道路からは「土のにおい」が失せ、東高からは「沼」と「校歌」が消えていた。そして、ビートルズは二本のカセットテープに閉じ込められてしまつた。

東高36期 五味世津子

四十一回目の学校祭が終わつた日も、夕焼けがきれいだつた。かつてセーラー服を着た私が、一生忘れないと目に焼きつけた美しい風景を、同じ場所に立つて再び見ることができた。今年度、大学を卒業して本校に勤務した東高36期五味世津子です。よろしくお願ひします。

# 平成元年度 東高同窓会 会務報告

平成元年度の主な会務を報告します。

## 一、平成元年度総会および懇親会

八月二十五日に後楽園ホテルで開催され、約五〇〇名の会員・恩師が参加しました。(当番幹事は東高六期・二〇期・三九期)

六三年会務報告および決算ならびに監査の諸報告が承認され、ついで平成元年度事業計画案・予算案が上程され、いずれも原案どおり可決された。

## 二、常任幹事会および幹事会

常任幹事会は一月と六月、幹事会は七月に例年どおり開催され、それぞれの事業が協議・議決された。

## 三、同窓会の入会式

第四〇回卒業生の同窓会入会式は三月九日に母校において行われ、卒業生四十五名が入会した。

## 四、支部・同期会・同好会への助成等

一月一二日、東京支部の総会がニュートリキョウで約一五〇名の同窓生が参加して行われ、吉中同窓会会长も上京して出席した。  
ゴルフ同好会(東高一期・氏家会長)は、年々盛大となつており、平成元年七月十九日、五九名が参加して行われた。

## 五、母校関係諸事業

学校祭開催にあたり、例年どおり一教室を押借して同窓会のPRをするとともに、在校生に対してジュースの無料配布を行つた。

# 平成2年度 事業計画案

## 一、総会・幹事会・常任幹事会および同窓会入会式の適正な運営

同窓会は八月二十四日・後楽園ホテル

今年度は役員の改選が行われるので、これを機会に常任幹事ならびに幹事名簿を整備し、さらに同窓会活動の活性化をはかるつもりである。

## 二、支部・同期会・同好会活動に対する助成

三、母校の学校祭や体育・文化活動に対する助成

四、同窓会組織活性化のため、幹事名簿の総点検に着手する。

# 平成2年度 役員の選出

同窓会事務局から

## ◎同期会に助成金

より多くの呼びかけで、親睦の和をさらにひろげる同期会への助成金の制度です。どしどしご利用ください。

はじめての同期会開催には:三万円。次回以降の同期会開催には:一万円。

申し込みはハガキで事務局へ。期名・代表者名(フリガナつき)

と電話番号・振込銀行と口座番号・開催日時と会場を記入の上お申込下さい。

・住所などの変更はハガキで住所・電話・勤務先などを変更された会員は、事務局へハガキでお知らせ下さい。

## ◎年会費について

年会費(五百円)は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校などの助成にも活用されています。

会員各位の特段のご協力をお願ひいたします。

会長	吉中 新太郎(東一)
副会長	秦 泰子(高女二四)
幹事長	小林 幸子(第一高二)
副幹事長	田中 麗子(東二)
大黒 正芳(東八)	岩城 弘侑(東一一)
小山 国夫(東一二)	高木 美子(東三)
藤枝 幸則(東九)	高橋 錠規(東一四)
皆川 公康(東一五)	本間 博文(東一七)
中村 紀子(東一九)	村山 忠司(東二六)
富樫 勝(東三一)	

☆送金振込先  
郵便振替口座 小樽〇一〇〇八〇番  
北海道札幌東高校同窓会

☎ 831-6332

◎同好会に参加を

ゴルフ、麻雀、テニス、ほか同好

の会員による懇親の集まりにふるつ

ての参加しませんか。今年はゴルフの

同好会が開かれました。ほか企画や

ご希望をお寄せください。お問い合わせ

山せは、組織担当副幹事長 本間・村山

・富樫まで(役員名簿参)  
札幌東同窓会事務局までお寄せください。

0031-831-6332

札幌市白石区菊水9条3丁目  
(札幌東高校内)

■ 会計報告

平成元年度決算書並びに平成2年度予算書（案）

☆一般会計

平成元年度決算書

平成元年7月1日から  
平成2年6月30日まで

(収入の部)

科 目	予 算 額	収 入 決 算 額	摘 要
前 年 度 繰 越 金	375,622	375,622	
新 入 会 員 会 費	900,000	914,000	457人×2,000円
年 会 費	400,000	234,000	468人×500円
雑 収 入	800,000	554,910	
計	2,475,622	2,078,532	

(支出の部)

科 目	予 算 額	支 出 決 算 額	摘 要
事 務 手 当	215,000	215,000	事務手当及び交通費
事 務 用 品 費	20,000	0	用紙その他
印 刷 費	20,000	10,000	
通 信 費	80,000	19,423	切手、はがき、郵送料
慶 弔 費	100,000	35,000	餞別
会 議 費	280,000	234,698	幹事会等会場費等
総 会 関 係 費	200,000	200,000	総会準備金
会 報 発 行 費	140,000	132,355	会報発行
学校祭関係費	130,000	146,250	学校祭参加
同期会等助成費	250,000	110,000	支部、同期会助成
新会員関係費	230,000	231,750	記念品贈呈
体育文化助成金	150,000	150,000	在校生助成
特別会計積立金	600,000	0	
雑 費	20,000	15,000	
予 備 費	40,622	20,300	
計	2,475,622	1,519,776	

収入額 2,078,532円 - 支出額 1,519,776円 = 残額 558,756円

残額は、札幌銀行菊水支店普通預金 (No.250100) に全額預入。

☆特別会計積立金（信託預入）

[収入の部]

前年度繰越額 2,133,846円  
繰 入 金 0円（一般会計から）  
収 益 配 当 金 97,007円  
合 計 2,230,853円  
(収入額2,230,853円 - (支出額) 0円 = (次年度繰越額) 2,230,853円

[支出の部]

※残高内訳

安田信託銀行札幌支店	貸付信託 (No.0910163412)	1,200,000円
金銭信託 (No.0910163401)	370,440円	
三井信託銀行札幌支店	貸付信託 (No.823547201601)	600,000円
金銭信託 (No.8235472016)	60,413円	
合 計	2,230,853円	

監査報告書

平成元年度の会計運営につき収支計算書、予算実績対比表の付属帳簿及び証拠書類につき監査を行った。

監査の結果、会計処理の原則及び手続きは、一般に公平妥当と認められる会計の基準に準拠しているものと認められた。よって、当監査役は上記決算書は平成2年6月30日現在の財務状態を適性に表示しているものと認める。

平成2年6月28日 監査役 中村瞳三四  
監査役 助貞瑛一

# 札幌東高等学校同窓会会則

## 第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校おく。  
(白石区菊水9条3丁目 電話811-1919)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、  
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

## 第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく。
- (1) 名誉会長 1名 現母校校長
  - (2) 名譽顧問 若干名 旧母校校長
  - (3) 顧 問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
  - (4) 相 談 役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
  - (2) 副 会 長 5名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
  - (3) 幹 事 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
  - (4) 副幹事長 10名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
  - (5) 常任幹事 若干名 正会員中より各期幹事の推薦に基づき会長が委嘱する。
  - (6) 幹 事 事 卒業時の各クラスより男女1名づつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は、各期正会員の互選により各期若干名を選出し、その中から正副代表幹事を選出する。
  - (7) 監 査 役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。
- 第6条 役員の任期は3年とする。但し再選を妨げない。
- 第7条 役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会 長 会務を総括し本会を代表する。
  - (2) 副 会 長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
  - (3) 幹 事 長 役員の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
  - (4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
  - (5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
  - (6) 幹 事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
  - (7) 監 査 役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を計る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
- (1) 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
  - (2) 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
  - (3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
  - (4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

## 第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 総会の開催
  - (2) 会誌の発行
  - (3) 母校発展のための事業
  - (4) 本会の組織強化のための事業
  - (5) その他執行委員会で必要と認めた事業

## 第4章 会 計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剰余金をもってこれにあてる。
- (1) 入会金は、1,500円とする。
  - (2) 年会費は、1ヶ年 500円とする。

第11条 本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。

第12条 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

## 第5章 附 則

- 第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。

第14条 会則の変更は、総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。

第15条 会計業務は、母校事務局で行う。

第16条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。

一部改正～昭和49年8月23日

昭和50年8月25日

昭和51年8月25日

昭和52年7月17日

昭和56年8月22日

昭和62年8月21日

**札幌東高校同窓会 役員名簿（案）**

役 職	氏 名	卒業期	住 所	電 話	勤 務 先	電 話
顧 問	芦野 トシ	職業9				
"	松尾 静江	高女22				
相 談 役	石田 アイ	高女2				
"	小野寺チズ	高女16				
"	五十嵐恒夫	東高1				
会 長	吉中新太郎	東高1				
副会長(母校)	秦 泰子	高女24				
" (広報)	小林 幸子	第一高1				
" (総会)	田中 麗子	東高2				
" (総会)	大黒 正芳	東高8				
" (総務)	岩城 弘侑	東高11				
幹 事 長	小山 国夫	東高12				
副幹事長(組織)	高木 美子	東高3				
" (総会)	高木 紗子	東高4				
" (母校)	陣内 幸則	東高9				
" (広報)	高橋 正	東高10				
" (会計)	藤枝 晴規	東高14				
" (会計)	本間 公康	東高15				
" (総会)	皆川 博文	東高17				
" (母校)	中村 紀子	東高19				
" (組織)	村山 忠司	東高26				
" (組織)	富樫 勝	東高31				
監 査 役	中村瞳三四	高女21				
"	助貞 英一	東高13				
常任幹事	長尾 貞子	高女4				
"	菅原 三枝	高女15				
"	佐野 セツ	高女18				
"	坂東 信子	高女22				
"	亀谷美津子	高女25				
"	横田佐和子	第一高2				
"	佐藤 一郎	東高1				
"	長谷川 修	東高2				
"	久末 祐輔	東高5				
"	鈴木 敬夫	東高7				
"	遠藤 安倫	東高8				
"	関口 晃	東高9				
"	山本 茂	東高10				
"	佐々木信義	東高12				
"	林 豊	東高14				
"	西谷 洋利	東高15				
"	伊東 康博	東高16				
"	白鳥 英一	東高20				



同窓生にと  
つて現在の東  
高の様子を知  
る機会に仲々  
恵まれません。  
そこでことし  
の東高だより  
から抜粋して、母校の模様をご紹介し  
ます。

## 東高だよりから

“グラブ地区予選から”

本年度の高体連地区予選が各地で熱  
戦を繰りひろげられました。

その中で、全道大会に出場の戦績を

紹介します。

●陸上競技

◎山田 剛 (二〇〇m) 全国大会へ

※札幌地区予選  
一〇〇m 第3位 吉岡 一  
二〇〇m 第2位 山田 剛  
四〇〇m 第4位 山田 剛  
四〇〇m 第6位 大内真紀  
四〇〇m リレー 第6位

※全道大会

二〇〇m 第3位 山田 剛 (全国)

●男子体操

( )

※札幌地区予選  
団体総合 第3位

（東高在校生）  
ベンはありませんか  
これから的新しい明日を  
確実に綴っていくための

新しい明日を

※年会費五〇〇円領收いたしまし

平成二年八月  
東高同窓会長

ノートをください  
楽しかった思い出を  
書き留めておくための  
消しゴムはありますか  
悲しかった思い出を  
遠く遠く消し去るための

詩  
新しい明日を

●放送発表大会石狩地区大会  
ラジオ番組自由部門 第7位

●男子バスケットボール  
全道大会へ

●個人総合第2位 井川里絵  
ラジオ番組自由部門 第7位

●新体操 (女子)  
※札幌地区予選  
団体総合第4位

●女子体操  
個人総合 第6位 川村幸輝  
平行棒 第3位 川村幸輝

## 平成元年度の進学状況

( ) 前年実績

## 進路のしおりから

中法立明慶早北北東北北札北藤北 稻海海日海海 帆星女海 央政教治応道道本道道幌学学子園 田情東学工園院園園 大大大大大大大大大大大大大大 3 3 2 2 1 2 0 1 2 5 3 7 1 25 14 50 計	◆私立大学進学者数
1 4 1 2 3 4 3 2 0 3 0 6 5 10 2 43 浪人	そ高東電弘千東鉄札旭帯室道小北 の崎京氣路幌川広教導 他経外通前葉公畜工育商 公立濟語信立医医産 大大大大大大大大大大大大大大 15810 1 1 1 9 2 0 2 0 1 1 2341 2343 現役
4 7 3 4 4 6 3 3 2 8 3 13 6 35 16 93 計	◆国公立大学進学者数
2 4 1 4 5 8 4 3 1 8 3 6 6 22 9 106	11611 5 1 2 5 3 2 5 2 1 2 1218 1532 浪人 27421 6 2 3 14 5 2 7 2 2 3 35 59 38 75 計 31144 4 2 3 17 1 0 10 2 4 4 36 69 56 59

◆私立大学進学者数	そ高東電弘千東鉄札旭帯室道小北 の崎京氣路幌川広教導 他経外通前葉公畜工育商 公立濟語信立医医産 大大大大大大大大大大大大 15810 1 1 1 9 2 0 2 0 1 1 2341 2343 現役
◆国公立大学進学者数	11611 5 1 2 5 3 2 5 2 1 2 1218 1532 浪人 27421 6 2 3 14 5 2 7 2 2 3 35 59 38 75 計 31144 4 2 3 17 1 0 10 2 4 4 36 69 56 59

◆短大・その他進学者数	そ防静札天北道藤弘前医療技短 幌使学校星武女衛生技短 計の衛修大女園女子谷子子 他大短短短短短短 426113 5 1 3 1 2 163729 0 2 17 現役
◆その他私立進学者数	31745 5 1 4 2 1 5 9 8 2 1 7 漢人 74315810 2 7 3 3 214637 2 3 24 計 210130 4 6 8 1 3 15 31 39 2 1 20
◆短大・その他進学者数	15524 1 3 0 2 2 0 2 15640 1 9 3 4 2 5 3 31164 2 12 3 6 4 5 5 26946 3 8 1 2 5 9 3

◆短大・その他進学者数	そ防静札天北道藤弘前医療技短 幌使学校星武女衛生技短 計の衛修大女園女子谷子子 他大短短短短短短 426113 5 1 3 1 2 163729 0 2 17 現役
◆その他私立進学者数	31745 5 1 4 2 1 5 9 8 2 1 7 漢人 74315810 2 7 3 3 214637 2 3 24 計 210130 4 6 8 1 3 15 31 39 2 1 20